

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

サムライ
【特集】 士業と仕事をする
～経営にプロのアドバイスを～

vol. 13

《弁護士》
様々なトラブルに対応。法の専門家

会社間の事故、債権問題、労働問題など、企業経営にトラブルは付き物。将来起こり得るトラブルを予防してくれたり、トラブルになってしまった場合に迅速に解決へと導いてくれる…それが弁護士の役割です。法律の専門家として企業経営の助けに。

【お問い合わせ】
福井弁護士会
福井市宝永4-3-1 三井生命ビル7F
TEL: 0776-23-5255
FAX: 0776-23-9330
URL: <http://fukuben.or.jp/>

《社会保険労務士》
人事・労務のエキスパート

企業にまつわる人事、労務、社会保険などの書類作成・手続・届出・代理業務を行い、労働環境がよりよく適正に運営されるようにアドバイスする専門家です。専門知識をフルに活かして、就業規則作成、見直し、コンサルティングまでトータルにサポートしてくれます。

(今号P5~6でご紹介)

【お問い合わせ】
福井県社会保険労務士会
福井市大手3-7-1 織協ビル315号室
TEL: 0776-21-8157
FAX: 0776-21-8103
E-mail: office@fukui-sr.jp

《行政書士》
最も身近な「街の法律家」

行政書士は、権利義務や事実証明に関するものなど、多種多様な書類を作成することができる専門家。書類提出手続きの代行の他にも、書類に関連したコンサルティングなど、経営に関する相談にも応じ、サポートしてくれます。

【お問い合わせ】
福井県行政書士会
福井市大手3-7-1 織協ビル604号室
TEL: 0776-27-7165
FAX: 0776-26-6203
E-mail: gn-fukui@mtc.biglobe.ne.jp

サムライ
士業と
仕事をする

～経営にプロのアドバイスを～

経営にさまざまな角度からのアドバイスをくれ、手助けしてくれる士業。これから起業を考えると、今ある事業をさらに成長させるとき、いろいろな場面で経営者のパートナーとして力を貸してくれます。そんな士業との仕事に「いまいち馴染みがない」「何をどう相談すれば…」という経営者もいらっしゃるのではないのでしょうか？今回の特集では士業を上手く活用し、経営の向上に活かしている企業事例や制度をご紹介します。参考にいただき、貴社のさらなる発展の手助けになれば幸いです。

《司法書士》
身近な法律問題を解決。
登記手続きも

裁判所や検察庁、法務局に提出する書類を作成したり、登記手続きを代行するのが司法書士の仕事。会社の設立時には、どのような種類の会社にするか、定款の内容をどうするか、など商業・法人登記に関する業務をサポートしてくれます。

【お問い合わせ】
福井県司法書士会
福井市大手3-15-12 フェニックスビル5F
TEL: 0776-30-0001
FAX: 0776-30-0002
E-mail: info@fukuishihoh-shoshi.or.jp

〇〇士って何??
「士業ダイジェスト紹介」

世の中には多くの資格、士業があります。それぞれがどんな相談に乗ってくれるのか、どんな得意分野があるのかをご紹介します。適材適所、士業を貴社の経営に上手く役立ててください。



《公認会計士》
監査および会計の
エキスパート

企業の財務状況などを監査して、不正や誤りの発生を防ぎ、改善のための助言・指導するのが主な業務。監査経験を生かして経営コンサルタントとして働いたり、金融機関などの企業内で働く会計士も多く、頼れる存在です。

【お問い合わせ】
日本公認会計士協会北陸会
金沢市玉川町11-18 新石川ビル8F
TEL: 076-265-6625
FAX: 076-265-5694
E-mail: hokuriku@sec.jicpa.or.jp

《弁理士》
特許、商標など企業の権利を守る

産業財産権に関わるすべての事務手続きを代理することができるのが弁理士。特許・意匠・商標等の出願、知的財産権の仲裁事件の手続き、ライセンスなどの契約交渉など、権利取得から問題解決まで幅広い相談に応じてくれます。(今号P7でご紹介)

【お問い合わせ】
日本弁理士会 北陸支部
金沢市鞍月2-2 石川県繊維会館2F
TEL: 076-266-0617
FAX: 076-266-0618
E-mail: <http://www.jpaa-hokuriku.jp/>

《中小企業診断士》
経営コンサル唯一の
国家資格

企業の成長戦略の策定やその実行に対して企業の経営診断、コンサルティングを行う専門家。企業の成長戦略の策定やその実行のために、専門知識と能力を活かして幅広くアドバイスをするのが主な業務です。中小企業施策の活用支援など、中小企業支援機関の専門家としてもおなじみです。(今号P3~4でご紹介)

【お問い合わせ】
(一社)福井県中小企業診断士協会
坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
福井県産業情報センタービル内
TEL: 0776-67-7447
FAX: 0776-67-7429
E-mail: info@sindan-fukui.jp

《税理士》
税金のプロフェッショナル

税金に関わる法律は非常に複雑。税理士は中小企業の税金に関わるサポートをしてくれます。税務代理・税務書類の作成・税務相談は税理士のみに許される業務。そのほか、経営相談の窓口となることも多い、企業にとって身近な士業です。

(今号P8でご紹介)

【お問い合わせ】
北陸税理士会 福井県支部連絡協議会
福井市日之出5-14-25
TEL: 0776-52-0510
FAX: 0776-52-1865
URL: <http://www.fukuizei.com/>

「認定支援機関」を検索してみてください!

<認定支援機関に相談>

商工会議所や金融機関、上記の士業など福井県内だけでも400近い機関が登録されている「認定支援機関」。認定支援機関の支援を受けることで、信用保証協会の保証料の減額や補助金申請など、資金調達役にも立ちます。新規事業や創業をお考えの方は認定支援機関を利用してはいかがでしょうか?

認定支援機関

検索

CONTENTS

- 01 特集 **サムライ 士業と仕事をする**
～経営にプロのアドバイスを～
・イントロダクション
士業ダイジェスト紹介
・企業事例
(株)福井建材社/企業組合ファームまあま喜ね舎/
(株)ミヤゲン/太田木材(株)
・サムライアライアンス 座談会
士業との仕事を語っていただきました
・士業とはどこで出会う?
士業を活用できる施策紹介
- 13 完成への道のり (株)加茂藤刃物
- 15 若手のチカラ 竹内菓子舗
- 17 飛躍する経営者たち 田辺晃司氏 (株)佐倉
- 18 グッドデザインシンキング
- 19 今月の社は
- 20 インフォメーション 他



岩崎 新氏

株式会社福井建材社
所在地：福井市問屋町2-34
電話番号：0776-26-2915（販売部）
代表者：岩崎 新氏
資本金：2,000万円
従業員数：45名
事業内容：住宅設備機器販売、給排水・空調工事、キッチン・システムバス取り付け工事

になりました。また、顧客とのコミュニケーションやグループ運営の手法などをテーマにした社内セミナーを、社歴やポストに応じて実施しています。

グループ制度を導入するにあたり、売上予算に関わる「遊び心」を取り入れたとも。「通常は、会社の年間予算を各個人に割り振るケースが多いでしょう。それでは『上から言われた数字』となり主体性がありません。そこで、グループ間・個人間で予算の割り振りがある程度融通しあえる『楽しい予算会議』を開くようにしました」。新たな仕組みの導入で地に足のついた



社員へのセミナーの様子。座学の他、営業への同行など、社員ひとりひとりと密なコミュニケーションを取ることも大切とのこと。

“中小企業診断士”と仕事をする

「営業出身」の中小企業診断士のもとで組織力強化

株式会社福井建材社

株式会社福井建材社は、福井市を拠点に住宅設備機器販売や給排水・空調工事などを展開する企業。1946年創業の同社が今取り組んでいるのが、中小企業診断士の指導による営業部門の組織力強化です。外部専門家を受け入れての経営改革は初という同社を訪問し、代表取締役 岩崎新氏と中小企業診断士の竹内真一氏に話を伺いました。

「人」を会社の強みとする 企業風土づくりに着手

岩崎氏は専門家受け入れの背景について、「昔ながらの経営体質から脱却する目的があった」と切り出しました。高度成長期の住宅需要や特約店制度などを追い風に売り上げを伸ばしてきたものの、販売チャンネルの多様化や県外資本の流入などで「強みが薄れつつあることを感じ、次の一手を打つ必要があると考えた」と話します。

相談を持ち掛けた相手が、旧知の間柄だった竹内氏でした。竹内氏は大手空調機メーカーで28年間営業担当を務めた後、2013年春に中小企業診断士として独立。出身中学校の同窓会スタッフを共にした際、ふとした雑談からビジネスの話につながったのだそうです。

岩崎氏によると「自らモノを作るメーカーではないため、扱い品目自体での差別化を図りにくい」という同社。そこで2人は「福井県内の住設販売の老舗であることを前面に押し出す」「人の魅力で独自性を出す」という方針を

まとめ、営業部門の組織強化を進めることにしました。

地に足ついた議論を促す 「楽しい予算会議」も

営業部門（＝販売部営業課）は専務の岩崎晋氏を筆頭に9人の体制。岩崎氏の「これまで、社員各自が個人商店のよう動く傾向があった」との言葉を受け、竹内氏は外回りに同行し一人ひとりの営業スタイルを確認することから始めたといいます。並行して、前職での経験を生かし、組織づくりのエッセンスを徐々に同課に取り入れていきました。

「重視したのは社風に重きを置いて取り組みを進めることでした。マニュアル本を用意して組織論を導入するのは簡単ですが、それでは現場からの反発を受けてしまいます。社風は社員自らが醸し出すものであるべきで、ギスギスした雰囲気になつては本末転倒だと考えます」

竹内氏の指導で同課に2つのグループを新設し、グループごとのミーティングや、月1回の個人面談も行うように

議論ができ、予算達成への意識にも一体感が増したのだそうです。

会社の将来を大局的に捉え 100年企業へ邁進

取材中、竹内氏は「自分がやるべきことはきつかけづくりに」と繰り返し返しました。「組織作りの成功事例はいろいろな形で情報化されていますが、その事例がどの企業にも当てはまるわけではありません」。同じ営業社員でも営業スタイルはさまざまで、効果

測定も長い時間軸で捉える必要があると強調します。

取り組みを始めて約1年半。岩崎氏は「まだまだ発展途上」としながらも、「トップダウン型の意思伝達から、上司から担当者・担当者から上司と情報が回るような動きができてきました」と一定の成果に満足げな様子。竹内氏も「売上や利益もさることながら、社歴に関係なく意見が言い合える企業風土づくりは重要です。組織力とは、人の力の総和ですから」と付け加えます。

プロのアドバイスを経営に取り入れたことで、営業部門はもとより社内全体の活性化につながっている同社。岩崎氏は「縁あって入社してくれた社員の生活を維持することが社長の務め」としたうえで、「営業部門が自律的に動き始めている中、会社の将来をより大局的に考えていくのが私の課題。創業100年のときも、お客さまに『福井建材社が必要だ』と言っていただけのような企業にしていきたい」と結びました。



バックヤードを見ると会社が見えると話す竹内氏。現場（倉庫）での打ち合わせをすることも。



TOTO福井県総合特約店として、業界を引っぺります。



竹内 真一氏

明道コンサルティング

所在地：金沢市北安江1-13-31-501（金沢オフィス）
福井市大手2-15-22（福井オフィス）
電話番号：076-232-0626（金沢オフィス）
0776-23-2245（福井オフィス）
090-3292-8383（携帯電話）



青垣 智則氏

青垣労務管理事務所

所在地：福井市日之出5丁目6-15
電話番号：0776-54-8877

後押しするかたちとなり、60代の調理師が新たに誕生したといえます。働く環境作りという点では、高齢従業員と若年従業員を2人1組で勤務させる「ペア勤務制度」があります。これは、勤務割りを作る際に必ずベテランと若年者をペアにするもので、技能継承や品質の平準化につながっています。松田氏は「地域の食文化を次世代に継承するのは、喜ね舎の大切な役割の一つ。ペア勤務制度があることで、両世代の相互理解が深まりました」と話します。



開店時間から絶えず買い物客が行き交う店内。地元の農産物や加工品が数多く並びます。

“社会保険労務士”と仕事をする

社労士の助言受け、高齢者に優しい就労環境構築

企業組合ファームまあま喜ね舎

福井市河増町にある「JA福井市アグリランド 喜ね舎」を拠点に、地元産野菜などを使った加工品を製造販売する企業組合ファームまあま喜ね舎。2011年設立の同組合は社会保険労務士の協力で高齢者に優しい就業環境を構築、設立以来着実に成果を上げています。そのきっかけや現況について、同組合代表理事・松田千鶴子氏、副理事長・齊藤久仁子氏、社会保険労務士の青垣智則氏に伺いました。

「平均年齢67歳」が物語る 職場の魅力と働きやすさ

同組合の前身は、2001年の同施設オープンに合わせてスタートした、JA福井市東部地区女性部加工グループによる任意団体です。6つのグループが持ち回りで総菜類やぼたもちなどを製造し、「ふくいのおふくろの味」を掲げ同施設内で販売を始めました。初年度560万円だった年間売上高は2008年度に1億円を突破し、加工グループ11団体・計45人が関わる大所帯となりました。

しかし、各グループの作業手順がまちまちだったことから曜日による味の違いが顕在化。齊藤氏は「お客さんから『曜日によってぼたもちの味が違うから、決まった曜日にしか買わない』との指摘もありました」と振り返ります。そうした課題を解消すべく2010年に加工部会を一本化し、翌年に県内初のJA女性部加工部門法人として同組合が設立されました。青垣氏との出会いもその過程で生まれたものでした。

松田氏によると「法人の形

県内初の厚労大臣表彰で 県外からも注目の企業に

多様な就労体系もまた、同組合の特徴です。正職員は6パターン、パート従業員では計17パターンの勤務形態を設定。隔日勤務や短日数勤務制度も導入し、従業員各自の事情に合わせて就労できる体制を作っています。「車の運転ができないため、ご主人が喜ね舎まで送迎する社員もいます。特に雪の日は大変ではな

態として企業組合を選んだのは、創立当初より参画する仲間が長く安心して働ける職場を作りたかったから」とのこと。パートを含めた全従業員が組合員で、経営への直接参加という動機付けにもつながっています。従業員の平均年齢は67歳で設立当初より上昇傾向にあるそうで、働きやすく職場に魅力があることを数字が物語っているといます。

資格手当制度の導入で 60代の調理師も誕生

2005年から「高齢年齢者雇用アドバイザー」として活動する社会保険労務士の青垣氏。同組合設立にあたり、賃金制度や勤務形態などの面でさまざまなノウハウを投入しました。

人事考課面では、執務態度や協調性、創意工夫、積極性など8要素を設定。従業員と執行部の双方が3段階で判定し、個人面談により評価を決めています。調理師は月額5000円、食品衛生責任者は月額10000円などの資格手当も設定。従業員の意欲を

いかと頭が下がる思いです」と齊藤氏。

さまざまな取り組みが認められ、厚生労働省主催の「高齢者雇用コンテスト」では、福井県で初めて厚労大臣表彰を受賞。県外女性からインターンで働きたいとの問い合わせや、四国の女性起業家からの表敬訪問申し入れなどの反響があったそうです。

高齢化社会が進行する中、高齢者雇用は従業員規模の多少にかかわらず避けて通れない課題となつています。その要諦について青垣氏は、「高齢者に対する間違った知識を払拭することが重要」と強調。 「加齢で体力が衰えたとしても、高齢者は決して『働けない』という存在ではありません。発想を変え、今ある身体能力でどこまで働けるか、その能力に合った賃金体系とは何かと、高齢者視点で考えることが大切ではないでしょうか」と県内企業に呼びかけま



調理現場に貼られたお惣菜のレシピ。判りやすさと見やすさを重視し、高齢者の多い環境にマッチしています。



数ある商品の中で一番人気の「ぼたもち」。売上げの約3分の1を占め、市外や県外からもこれを目当てに来店するほどです。

企業組合ファームまあま喜ね舎
所在地：福井市河増町9-10-1
電話番号：0776-52-2260
代表者：松田千鶴子氏
資本金：637万円（出資額）
従業員数：40名
事業内容：総菜・弁当・菓子等の製造販売



齊藤 久仁子氏



松田 千鶴子氏



浅井 和成氏(左)
太田 博氏(右)

“税理士”と仕事をする

太田木材株式会社

企業に寄りそう身近な士業 経営課題解決の窓口

吉田郡の木材加工販売会社の太田木材株式会社。木材のプレカット加工に県内でいち早く進出し、また、2012年からは「ウッドパートナー」として女性による住宅設計部門を設立したりと、精力的な企業です。そんな同社の成長には、陰で経営を支える税理士の存在がありました。創業当時から現在までを知る税理士の浅井和成氏と、前社長の太田博氏にお話を伺いました。

30年来のお付き合い 企業の成長を見守る士業

1987年の創業時から、地場の工務店などに向けて、良質な木材や建築資材を供給してきた同社。税理士の浅井氏との出会いは、会社の立ち上げ時にさかのぼります。母体であった滋賀県内の木材店からの暖簾分けで福井に進出したことから、「地元の税理士に頼んだ方がフットワークの面で何かといいだろう」と銀行からの紹介を受け、付き合いが始まりました。

「私は専ら現場人間でしたから、銀行とのやりとりや書類に関してははっきり言ってよく分かりませんでした。当時はよく銀行まで浅井先生に同行してもらい、やりとりを手伝っていただきました。創

業当時から本当にお世話になっていました」と太田前社長。それに対し浅井税理士はこう話します。「銀行は融資の際、事業計画書や資金繰り表を重視します。しかし多くの中小企業の社長さんには作成する時間がありません。経理担当者がいたとしても難しいことが多い。そこで税理士の出番です。企業さんと銀行を繋ぐお手伝いをさせていただきます」

会社の経営についてはもちろんのこと、社内の事情を何でも話せる間柄を構築していた両氏。昨年ご子息の貴司氏に社長の座を譲った際にも、代替わりの話を以前より聞いていた浅井氏は、株式譲渡についてアドバイスしたという話も明かしてくれました。

経営の転換点にもアドバイス 企業の身近な相談役

「昔は良い材木を持っていれば、それだけで売れた時代もありましたが、今では木材のプレカット技術も向上し、数年ごとに設備投資が必要で、常に時代の流れに合わせて

て変えていかないとはいけません。そんなとき、第三者の立場からの意見はとてもありがたい」と話す太田氏。転換点で悩む経営者のそばに立ち、税務の専門家として助言することも多いと浅井氏は言います。

「一般的に我々は保守的と思われていますが、慎重派の社長さんの場合、背中を押すようなこともあります。企業の現状や経営者の性格に合わせて、あえてあまのじゃくにならないといけないこともありますよ」と浅井氏。

他の士業とは違い、決算報告や確定申告の際など年に一度は企業と必ず関わりがあることが多い税理士。企業との契約にもよるものの、月に1回やそれ以上のやりとりがあることもざらです。顔を合わせる機会が多いため、経営相談は最初に浅井氏に持ちかけることが多いと太田氏は話します。

浅井氏もこう続けます「まずはちょっと聞いてみよう」というふうを利用していただければと思っています。税理士だけで対応できな

太田木材株式会社
http://wood-partner.jp/
所在地：吉田郡永平寺町松岡兼
定島14-36-7
電話番号：0776-61-6600
代表者：太田 貴司氏
資本金：1000万円
従業員数：57名
事業内容：木材加工・卸小売、
住宅設計施工

浅井和成税理士事務所
http://www.tcnf.com/asai/pc/
所在地：福井市二の宮1丁目8-30
電話番号：0776-24-3474



“弁理士”と仕事をする

株式会社ミヤゲン

ひらめきを共にカタチにする プロの知識で価値を生む助言を

ポリエチレン袋を中心に、産業資材、台所用品等と幅広い展開をする株式会社ミヤゲン。代表取締役の宮元武壽氏は、72歳の今でも泉のごとく湧いてくるアイデアと挑戦を武器に新商品開発に当たっています。弁理士のアドバイスで特許取得に成功した、コンビニコーヒーの持ち帰り用レジ袋の開発秘話を、宮元社長と弁理士の中出朝夫氏それぞれに伺いました。

アイデアをブラッシュアップ 最上を目指す課題

大手スーパーに採用された台所用水切りネットの製造技術をはじめ、これまでにも数々の特許を取得している同社。「特許取得が目的でなく、商品化をゴールに考えていますが、今回のものは特に手ごたえがあります」と、宮元社長が目を輝かせるのが、このたび特許を得た、カップ持ち帰り用のレジ袋です。コンビニ各社でテイクアウトのコーヒーが売り上げを伸ばしていることに注目した同氏。早速試作品を手に、1年ほどのつき合いになるという中出弁理士へ相談を持ちかけました。

「初めは普通のレジ袋に、カップの保持部として穴のあいた別シートを貼り付けたものでした。中出先生には『これでは特許は取れない、1枚のビニールでできないものか』と難しい課題をもらいました。そのヒントをもとに考え、今の製品が完成したと思っっています」

完成品をもとに、大手コンビニとの商談も順調だと話す宮元氏。「完成したのを見

特許出願を身近に 新しい士業のかたち

2012年に独立開業した弁理士の中出氏。自らを専門家であると同時にサービス業であると話します。

「昔は弁理士といえはいわゆる『代書屋』のイメージがあったと思いますが、今は言われたとおりに申請するだけ

ればコロンブスの卵、とても単純な構造なのですが、先生のひとつがなければ思い浮かばないアイデアでした」

また、若く気さくな中出氏には、腹を割った話し合いができたことも成功の要因と話します。「そもそもこの特許がお金を生む価値あるものか、この部分をクリアすれば取得できる。…など、専門家としてたくさん情報を持つ中で的確なアドバイスやアイデア、課題をもらえると云います。

「もちろん実際にカタチにするのはこちらですが、一緒に考えてくれるパートナーのように感じていきます。中出先生との二人三脚はこれからです」

の時代ではないと感じています。クライアントである発明者と同じ目線で、コミュニケーションを密にとることを大事にしています」

また、ファーストコンタクトの際、中出氏から企業に出向くこともあるように、独立以前よりもフットワークの軽い対応を心掛けていたという中出氏。

「特許という敷居が高いように思われますが、ミヤゲンさんのレジ袋の案件を見てのとおり、申請内容は決してハイテクである必要はありません。特許取得には、新規性がないとか進歩性がない、のような『拒絶理由』がないことが大事なんです。いろんなものに挑戦してもらいたいですね」と中出氏は話します。

発明者自身が特許出願することもできますが、多くの場合初めから弁理士に相談した方がスムーズとのこと。無料相談など、上手に利用してほしいとお話くださいました。

株式会社ミヤゲン
http://www.miyagen8.co.jp/index.html
所在地：敦賀市山泉7-15-3
電話番号：0770-21-0038
代表者：宮元 武壽氏
資本金：3,000万円
従業員数：34名
事業内容：包装資材、観光物産、
水産資材の製造販売

フェニックス特許事務所
http://phnxpat.com/
所在地：福井市日之出5丁目3-16
電話番号：0776-63-5594



宮元 武壽氏



中出 朝夫氏

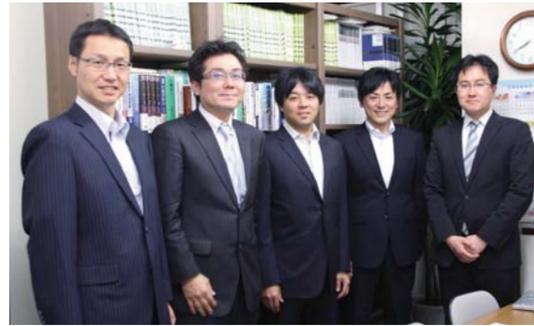
弁護士 神田法律事務所
神田 芳和氏 (写真一番右)
分野を問わず様々な問題に対応し、依頼者にとって最良の選択を見つけ出してくれる法律の専門家。仕事は堅実に、名医よりも良医がモットー。

税理士 小木崇永税理士事務所
小木 崇永氏 (写真中央)
個人、企業の大切な資産を守る税務・会計のエキスパート。東京での税理士事務所勤務を経て、越前市に個人事務所を開設する。サムライアライアンス発起人の一人。

司法書士、土地家屋調査士 土田登記・測量合同事務所
土田 康博氏 (写真一番左)
登記手続きや相続問題に対して、的確な手続きとアドバイスを進言してくれる専門家。サムライアライアンス発起人の一人。

社会保険労務士 今井労務経営事務所
今井 順也氏 (写真左から2番目)
中小企業が「強い組織」をつくるための制度作りを助けてくれる、人事・労務のスペシャリスト。柔軟かつスピーディーな対応を心がけ企業の活性化を促す。

中小企業診断士
吉村 征浩氏 (写真右から2番目)
コンサルティングをライフワークにしたいと中小企業診断士の道を選択。分野・大小問わず人生全般の悩み事に対し最良の策へと道案内してくれる専門家。サムライアライアンス発起人の一人。



サムライアライアンスの5名に
サムライ
「士業との仕事」を
語っていただきました

福井の弁護士、税理士、司法書士、社会保険労務士、中小企業診断士から成る専門家集団、サムライアライアンス。複雑な経営問題の解決には、いくつもの窓口への相談が必要になるケースが多く、より効率的で誠実な対応をしたいという思いを持つ士業者5人が連携しアライアンス（協働組織）を立ち上げました。今の士業のあり方、相談者へのアドバイスなど、生の声をお聞きしてきました。

ご相談でいただいた情報をもとに交通整理をするようなイメージです。

「以前の士業のイメージから比べると、サービス業の色が濃くなっているように見受けられますが、いかがでしょう？」
小木氏 産業分類では実際に「サービス業」に位置付けられています。私の事務所ではまずは、お客様のことを好きになることを心掛けていますね。相手に興味

吉村氏 事実が分かっているも、どこが問題を分かっているか、どこが問題か分からない感じが、実際に来られる方が実際に多いです。法律、税務、財務、いろいろが複雑に絡み合った案件ばかりで、社長さんにも、一人の士業にも紐解けないことももちろんあります。

小木氏 出していたいただいた情報をもとに我々が交通整理をするようなイメージですね。
吉村氏 問題は分かっているも、どこが問題を分かっているか、どこが問題か分からない感じが、実際に来られる方が実際に多いです。法律、税務、財務、いろいろが複雑に絡み合った案件ばかりで、社長さんにも、一人の士業にも紐解けないことももちろんあります。

「県内では士業連携を前面に打ち出している活動は珍しいですが、連携することでの最大のメリットをお聞かせください。」
小木氏 お客様にとって時間短縮になることが一つです。これまでの場合、例えば「ここは〇〇と弁護士に質問してほしい」と言ったとき、伝言ゲームになってしまい正しく回答がもらえないこともありまして。お

お客様は「最終的にどうすればいいのか？」を知りたがっています。その目的のために、プロ同士の話ができ、情報を共有することで、スピーディーにベストな案を回答できます。
吉村氏 私は以前銀行に勤務していた当時から、面的な経営サポートをしたいと考えていました。士業ごとに専門があり、社長さんが各士業のところを行ったり来たり…という姿をみて歯がゆい思いをしてきました。今ではメンバーに電話1本で聞けたり、直接数名の士業と話せる場を作ることができ、とても喜ばれています。

神田氏 守秘義務解除はもちろんな必要ですが、普段から連携が取れていないと「そもそもこの人に話しているのか」という問題にもなります。それにお客様自身で他の士業を探すことは、普通なかなか難しいことです。
土田氏 複数の専門分野が関係する場合、全部100点満点の答えが出れば理想ですが、現実には難しいこと

プロが仲間にいることで「何でも聞いてください」と本気で言えますね。

吉村氏 プロが仲間にいることで、私たちとしての自信にもつながります。「何でも聞いてください」と本気で言えますね。それに、心が知れた仲なので多少踏み込んだ相談もしやすいです。アライアンスでなければ

を持つことで勉強するようになりまして。そうすることでスキルが上がります。最終的に信頼につながると思っています。
今井氏 私のところでは週に1回「お客様研究」の時間を設けています。労務に関すること以外でも、その企業や経営者の思いなどいろいろを話し合える環境を作ろうと考えています。企業の考えを知らないままだと、まともな相談にならないこともあります。あとは聞かれたことにはすぐ答えること。安心と信頼につながる基本です。
土田氏 昔は事務所の奥でデンツと座っていたらよかった時代も確かにあったようですが、今ではほとんど無いのではないのでしょうか。細かい法律も増え、業界の競争も激しくなってきました。昔のような殿様商売ではやっていけないと考えます。そんな時代に同年代のメンバーが集まって、このようにサービスを提供するのは必然だったように思います。

士業同士が連携した、このようなサービスを提供するのは必然でした。

小木氏 ただそういったサービスをしなければ生き残れないという危機感だけではないという危惧感だけではない。我々の提供できるサービスでお客様に喜んでもらえることが純粋に楽しい嬉し。そこが根底にあります。
吉村氏 私はそもそもそういった思いで士業になりました。だから、サービスの提供のことを別に特別なこととは思っていません。人が本心に喜ぶことを、自分として何ができるかということがきつかけで、他のみんなも資格を取ってきています。

「士業への相談の仕方がいまいからない」という経営者もいるかと思いますが、どんな風に相談すればいいのでしょうか？」
神田氏 お客様に必要な情報は持っているのですが、その出し入れの仕方がわからず困っていることが多いです。そこそそ士業が必要となる場面です。ですから「必要なことはこちらから伺いますから、まずは来てください」と言いたいです。
吉村氏 例えば弁護士に対し、「法律のことしか聞い

03 福井商工会議所 エキスパートバンク

「エキスパートバンク」は、専門家の無料相談制度です。

エキスパートバンク登録相談員（弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士をはじめ、総勢50名を超える専門家）がマンツーマンで経営の悩みや相談に応じますので、企業ごとのケースに対応した細かなアドバイスを受けることができる制度です。

相談方法は次の3つから選べます

1. 火曜定例 法律相談会

毎月第2・3・4火曜日に、法律と税務の相談会を開催します。
【開催時間】 13:30~15:30（相談時間は30分間）
【会場】 福井商工会議所ビル2F 中小企業総合支援センター
【申込方法】 事前にご予約ください

2. 事務所訪問相談

毎月テーマを設定し、その分野の専門家が事業所に直接訪問
 ・その事業所にあつたきめ細やかな相談・アドバイスが受けられます
 ・相談無料。希望する時間帯に相談できます。多忙な方にぜひ

3. 個別相談

個々の事業所の相談に随時対応します
 急を要する相談や訪問相談のテーマにない相談について、個別に専門家をご紹介します

《お問合せ先》

福井商工会議所 経営支援・人材育成課

福井市西木田2-8-1
 TEL: 0776-33-8283
 FAX: 0776-50-6789
http://www.fcci.or.jp/fsem/exbk/fsem_exbk.htm



04 各士業協会「無料相談」を活かす

士業協会ごとに県内で無料相談窓口を開催しています。「士業への相談は費用が心配」と思われている経営者も多いはず。無料相談窓口を上手に活かしてみたいかたがでしょう。

	場 所	開催日時	その他	お問い合わせ先
中小企業診断士	福井県産業情報センタービル内	平日 9:00~17:00 (お盆・年末年始除く)	相談は要予約	(一社)福井県中小企業診断士協会 TEL: 0776-67-7447
社会保険労務士	織協ビル3F 315号	平日 9:00~17:00 (お盆・年末年始除く)	予約不要	福井県社会保険労務士会 TEL: 0776-21-8157
弁 理 士	福井県発明協会 知財総合支援窓口	毎週木曜日 13:30~16:30	相談は要予約	(一社) 福井県発明協会 TEL: 0776-55-2100
	県内各商工会議所	毎週火曜日 13:00~16:00		
税 理 士	福井県税理士会館	毎月第1・3水曜日 (1月~3月と祝日は除く) 13:00~16:00	相談は要予約	北陸税理士会 福井支部 TEL: 0776-52-0510
弁 護 士	福井市 福井弁護士会館	毎週月・木・金・土曜日 13:30~15:00	相談は要予約	福井弁護士会 TEL: 0776-23-5255
	丹南 越前市生涯学習センター	毎週水曜日 13:30~15:00		
	嶺南・敦賀 敦賀市男女共同参画センター	毎月第2・3・4・5火曜日 13:30~15:00		
	嶺南・小浜 小浜市働く婦人の家	毎月第1火曜日 13:30~15:00		
司 法 書 士	福井県司法書士会	毎週水曜日 13:00~16:00	相談は要予約 定員6組	福井県司法書士会 TEL: 0776-30-0771 (平日10:00~15:00)
行 政 書 士	福井市役所 1F市民サービス推進室	毎月第3水曜日 13:00~16:00	予約不要 年3回永平寺町でも開催 外国人のための無料相談会も開催	福井県行政書士会 TEL: 0776-28-6850 (井関氏)

士業とはどこで出会える？

士業を活用できる施策をご紹介します



これから創業を考えると、新規事業に取り組みたいと考えたときなど、士業の力を活かしたいタイミングはいくつもあるかと思われます。そんなとき、「どうやって士業と出会えばいいのか」と悩む経営者も多いのではないのでしょうか。ここではそんな経営者の役に立つ、国や支援機関の施策をご紹介します。

01 ミラサポ 専門家派遣事業

様々な経営課題に対して、専門家が無料で支援してくれます

※ミラサポとは：中小企業庁が開発する、中小企業・小規模事業者の未来をサポートすることを目的としたウェブサイトです。会員登録をすれば以下のようなメリットがあります。

- ポイント1：**年間3回まで無料で相談できます
 専門家派遣の依頼は年間で3回まで可能。ご利用は無料です。まずは最寄りの支援機関にご相談ください。
- ポイント2：**専門家はWEB上で検索できます
 登録されている専門家は、キーワードや経営課題、エリアなどからも検索が可能です。
- ポイント3：**コミュニティ上で相談できます
 ミラサポへ登録することで、サイト内のコミュニティを利用できます。専門家に気軽に相談することもできます。

相談の窓口はどこにあるの？

よろず支援拠点・地域プラットフォームをご利用ください。

相談内容に応じて、専門家を選定・紹介を受けられます。

■よろず支援拠点とは※当センターが福井県の拠点となっています。(次項参照)

よろず支援拠点は以下の3つの機能があります

- ・既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対する「総合的・先進的経営アドバイス」
- ・事業者の課題に応じた適切な「チームの編成を通じた支援」
- ・支援機関等との接点がなく相談先に悩む事業者に対する「的確な支援機関等の紹介」

■地域プラットフォームとは

地域プラットフォームとは、中小企業庁が認定した、地域の中小企業支援機関の連携体です。専門家派遣事業の窓口機能を担うほか、その構成機関が連携して、地域における中小企業・小規模事業者の経営を支援するための取組みを行います。ミラサポ内でお近くのプラットフォームの検索ができます。

02 ふくい産業支援センター 総合窓口・専門家派遣事業

当センターの総合窓口では、企業が抱える様々な経営課題にお応えできます。中小企業診断士をはじめ各分野の専門家等が、指導・助言を行い、問題解決に取り組みます。

専門家派遣 活用のポイント

- ・士業をはじめとした100人近い専門家が登録されており、幅広い分野でご活用いただけます
- ・少額の費用負担で専門的なアドバイスを受けられます

【費用】 専門家謝金1回あたり40,000円以内のうち1/2が企業負担となります
 (嶺南地域の対象企業は、1/4負担となります)

【利用回数】 派遣上限は10回まで

【対 象】 創業予定者、中小企業・組合・NPO等で具体的な経営課題をお持ちの方

《総合相談窓口、福井県のよろず支援拠点はこちら》

坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
 福井県産業情報センタービル3F
 TEL: 0776-67-7400 (総合窓口) / 0776-67-7402 (よろず支援拠点)
 FAX: 0776-67-7429



完成への道

商品はどのようなプロセスで完成されていくのか。企業によるアイデアの創出から新商品誕生までの開発ストーリーを紹介します。

越前打刃物の技を活かし 福祉用具の分野に進出

有限会社加茂藤刃物



加茂 詞朗氏

片麻痺の障害を持つ人の負担を軽くする包丁を

障害者用包丁の開発は、椋山学園大学生活環境デザイン学科の滝本准教授との出会いがきっかけでした。「15年程前から、滝本先生はタケフ



ナイフビレッジの手造り鍛造ナイフ教室に來られていたんです。近年は、大学で自助具の研究をされていて、2年程前に「障害者向けの包丁を作りたいが、自分ではできない。ぜひ、なんとかカタチにしてほしい」と声をかけていただきました」加茂氏は、そう振り返ります。

開発にあたって、滝本准教授は交流のある障害者支援団体NPO法人ドリームに協力を依頼。ドリームが行った脳卒中の後遺症として身体の左右どちらかの手足が麻痺する片麻痺の障害を持つ人への聞き取り調査によると、特に女性には日常生活での支障に加え、家族のために食事が作れなくなったことによる精神的な負担が大きくなることがわかりました。ドリームでは、

片麻痺者を対象にした料理教室で調理方法の指導を行っています。健常者と同じ調理器具を使用しているため作業に不便が生じているのが現状です。そこで、調理に用いる包丁を、片手で使用できるよう改良した障害者用包丁を開発することになりました。

包丁を持ちながら食材を 押さえる動作を両立

「片手しか使えない場合、包丁を持つ同じ手で、切りたい食材を押さえずにはいけません。そこで刃物の背中に窪みをつくり、人さし指を刃の背中にそわせて、親指と中指で食材を固定できるようなカタチを目指しました」と、障害者用包丁の特徴を説明する加茂氏。さらに、必要な機

有限会社加茂藤刃物
<http://www.takefu-knifevillage.jp/kamotou.html>
 所在地：越前市余川町22-91
 電話番号：0778-27-7120
 代表者：加茂 詞朗氏
 資本金：300万円
 従業員数：5名
 事業内容：打刃物製造

能性に加え、洗練されたデザイン性の高い商品を目指し、滝本准教授の研究室と共同でデザイン設計を進行。メールで設計図のやりとりを行い、試行錯誤しながら製作を進めていきました。

「最初、滝本先生から出てきた設計図は、背の窪み以外に、刃の部分に空洞があったんです。デザインのなごだわりでしょうが、空洞を小さく

して力がかかるところを作らないと、刃物が折れてしまう。これでは危ないとお話しました」伝統ある越前打刃物の職人としての経験に基づき、アドバイスを繰り返し、最終的に窪みだけを残した現状のデザインになったそうです。

他にも、手の力の弱い人が使いやすいよう、薄く切れ味の鋭い片刃のステンレス特殊鋼材を採用したり、滑りにく

いグリップを県外の企業に発注したりするなど、滝本准教授と意見を出しあい様々な工夫を施していきました。

生活の幅を広げる自助具 業界からの期待も大きく

「食べものを食べるというのは、人間にとって基本的なこと。できれば自分で料理をして、家族においしいものを食べてほしい。それを人の世話になるのは、抵抗があるでしょう。切った食材のカタチが多少悪くても、この包丁で調理ができるようになれば、生

活の幅が広がるし、張り合いも出るのではないだろうか」そう障害者用包丁への思いを語る加茂氏。

昨年11月には、名古屋で行われた全国自助具フォーラムに、片手使用包丁（右利き用・左利き用）と車椅子に座ったまま作業がしやすい座位姿勢包丁の2種類の試作品を出品。「素材から鍛造まで、刃物としての性能は問題ない」と、自信を覗かせます。

「ただ、この商品を待っている障害者の方はいるでしょうが、まだ価格的に高価で、販売に結びつけるのは難しい

と思います。今後は、フォーラムに参加した全国のNPO法人の反応を見ながら、どういうカタチで市場に提供できるかを考えていくことになりました。シリーズ展開やブランド化なども、これからですね」と語る加茂氏。課題は残るものの、越前打刃物の高い技術に支えられた障害者包丁には、自助具業界から大きな期待が寄せられています。

※身体の不自由な人が、日常生活動作を可能な限り自分自身で行えるよう補助し、日常生活をより快適に送るために特別に工夫された福祉用具のこと。



デザインのやりとりをくり返し、完成に至った障害者用包丁。座位姿勢包丁(上)と、片手使用包丁(下)。伝統に裏打ちされた技術で、刃物としての品質も一級品です。



片手で食材を固定できるよう、背に窪みをつけたデザイン。



手首のポジションに無理のかからないよう工夫された形状。自然に力が入る握りになっています。

第8回 若手のチカラ。

このコーナーでは、若手のパワーでチャレンジを続ける会社を紹介。若い力から成長企業の元気の源を探ります。

竹内菓子舗

特産品を使った和菓子で、福井の魅力在全国発信

父親の反対を押し切り挑戦した米粉カステラ

「四代目と喧嘩しても作りたかった五代目の米粉カステラ」。インパクトのある商品名は、信仁氏の友人が名付けたものです。

「昔、父が長崎カステラを作ったとき思うように売れなくて、最初はカステラ作りを反対されたんです」と、当時を振り返る信仁氏。しかし、信仁氏には、反対する父親と「喧嘩をしても作りかった」理由がありました。

東京の大学を卒業して菓子専門学校に通い、和菓子店で修行を重ねた信仁氏。家業を継ぐ前に、「他にやりたいことはないか、東京の大学で寄り道させてもらったんです。そこで、『これだ!』と思う

仕事は遠くにはなく、実はずっと近くにあったんだと改めて気づきました」と、和菓子職人になるまでの経緯を振り返ります。

この時期に、「東京では福井を知らない人が多く、いつか見返したいと思った」ことが、米粉カステラを作るきっかけになったそう。刺激的な長い商品名には、信仁氏の家業を継ぐ際の葛藤、それを跳ねのける前向きな姿勢、故郷福井への思いが込められているのです。

帰郷した信仁氏は、「福井の素材で、新しい和菓子がないか」と、地元の特産品を模索。そこで辿り着いたのが、福井発祥の福井県産コシヒカリの米粉を使ったカステラでした。

素材を研究&厳選したもちもちのやわらかさ

しかし、米粉は固くなりやすい特性があり、「生地がほそぼそし、焼き面がはがれてしまう」など、カステラ作りは難航しました。信仁氏は、米屋や食品加工研究所に通い、米粉を研究。通常の米粉と、昔から伝わる杵でついた「胴つき製粉」による吸水性の高い米粉をブレンドし、独自の配合を導き出しました。また、米を食べて育った鶏が生んだ『福井の米たまご』を使い、卵黄を多めにパサつき感をカバー。さらに、『超急速超低温冷凍機』を導入し、長期保存を実現しました。完成した米粉カステラはお米のもちもち感とやわらかさがあり、「こんなカステラ食べた



竹内 信仁氏



竹内 仁市氏

かった。非常に頼もしく、後はもう任せました」と穏やかに微笑みます。

年内には、現店舗に加え、フェニックス通りに2店目をオープン。念願の新工場も併設する予定です。福井の特産品と和菓子、伝統と革新、人と人をつなぐパイプ役を幅広く担う、信仁氏。その手のひらから、今日も新しい福井の美味しさが生まれています。

伝統と革新をつなぐ新しい福井の美味しさ

他にも、南越前町の完熟梅を使った夏の和菓子をはじめ、現在約15種類のオリジナル和菓子を手がける信仁氏。自身が役員を務める福井県菓子工業組合青年部会では、福井の特産品である越前金時、とみつ金時、六条大麦を使用した和菓子『おちよ金時』を開発。新しい故郷の土産として話題になっています。

「現在、冠婚葬祭が縮小し、和菓子の需要は減っています。でも、土産やプレゼントとして人と人をつなぐ意味

ことない」と、お客さまから驚きの声があがっています。現在、米粉カステラは、プレーン、抹茶、チーズ、季節限定など8種類を展開。店舗や自社のホームページで販売し、福井以外に東京、名古屋など全国からも注文が増えています。意外だったのは、「小麦アレルギーの子供を持つ親からのリピートが多いこと」でした。ただ、小麦粉は不使用ですが、同じ工場小麦粉を用いた製品を作っているため、「今は注意書をしていますが、今後はアレルギーにきちんと対応した生産体制を整えたい」と語ります。



5代目の仕事を見守る4代目。普段は同じ調理台の前に立つことは減多にないといいます。



看板商品となっている米粉カステラ。写真は抹茶味。



季節感のあるモチーフを職人の技で一つ一つ丁寧に形にします。

竹内菓子舗

http://www.takeuchikashiho.com/

所在地：福井市花堂北2-15-6

電話番号：0776-36-2456

代表者：竹内 信仁氏

従業員数：5名

事業内容：和菓子製造販売



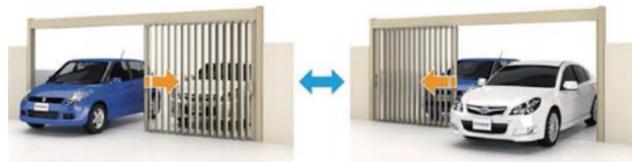
大通りから一筋入った立地。地元にも愛される、昔ながらの店構えです。



2014年度グッドデザイン賞受賞

車庫前門扉（スライディングゲート）[シャレット/ライアーレ]
東工シャッター株式会社/三協立山株式会社 三協アルミ社

左右どちら側からでも開閉可能なダブルオープン構造を実現した高級感のある縦格子意匠の車庫前用門扉。開状態での扉のたたみ代、扉たたみ代後方のデッドスペースなど一般的な折たたみ式車庫前用門扉の課題をダブルオープン構造を用いて見事に解決し、スムーズな車の出し入れや駐車スペースの有効活用など新たな生活空間を提案しています。また上吊構造による安定した操作性や、縦格子の十分なクリアランスによる安全性と軽快な意匠性など、課題解決だけでなくトータルデザインされている点も高評価に繋がっています。



ダブルオープン・・・左右両方から扉を自由に開閉可能

DATA

- 受賞対象名
車庫前用門扉（スライディングゲート）[シャレット/ライアーレ]
- 事業主体名
東工シャッター（株）/三協立山（株） 三協アルミ社
- 受賞企業
東工シャッター（株）
三協立山（株） 三協アルミ社
- 受賞番号
14G060517
- プロデューサー
東工シャッター（株） 住宅エクステリア営業部 西本佳隆
三協立山（株） 三協アルミ社 技術開発統括部 商品企画部 本川透
- ディレクター
東工シャッター（株） 住宅エクステリア営業部 渡辺修二
三協立山（株） 三協アルミ社 技術開発統括部 商品開発部 北山茂宏
- デザイナー
東工シャッター（株） 住宅エクステリア営業部 森松巧、大谷和弘
三協立山（株） 三協アルミ社 技術開発統括部 商品企画部 晴地雄作
三協立山（株） 三協アルミ社 技術開発統括部 商品開発部 北村圭

審査委員の評価

担当審査委員 | 橋田 規子 五十嵐 久枝 服部 滋樹 吉田 龍太郎

左右どちらでも開閉のできるスライディングゲート。動きが非常にスムーズで堅牢性がありデザインに無駄が無くすっきりしている。鍵廻りの細かい配慮や、リモコン化もして、使い勝手が良さそう。ゲートの横には人の出入り口を連結でき、同じデザイン基調でコーディネートも可能である。

第2回
福井県のグッドデザインを紹介
グッドデザインシンキング



第13回 **飛躍する経営者たち**
福井県ゆかりのアグレッシブな経営者取材。企業を成長へと導く秘訣に迫ります。

田辺 晃司 氏 ●株式会社伝食 代表取締役

**持ち続ける“世界進出”への思い
新店を足がかりに躍進を目指す**

連日、県内外から多くの観光客が訪れる敦賀の日本海さかな街。同社は「越前かに職人甲羅組」の屋号で4店舗を構え、広い場内に活気をもたらしめています。代表の田辺氏は34歳の若手経営者。「世界に向けて旬の食材を発信したい」という強い思いで躍進する同氏にお話を伺いました。

株式会社伝食

HP: <http://www.rakuten.ne.jp/gold/diydiy/index.html> 資本金: 300万円
所在地: 敦賀市神楽町2-4-15-1F 従業員数: 35名 (パート含む)
電話番号: 0770-47-6558 事業内容: 鮮魚等の小売・卸

**独立への思いを実現
品質とサービスを武器に
躍進**

さかな街内のある店舗で、従業員として販売の経験を積んだ田辺氏。いずれは自分の店を持ちたいという気持ちがあったといいます。「日本だけでなく、海外に進出したい」という拡大路線は、当時から持ち続けていたビジョン。30歳の時にアパートの8畳間を拠点に一念発起で独立した後、同年内にネットショップと、さかな街内1号店の両方を立ち上げることに成功しました。

現在でも好調なネットショップは1年も経たずして、楽天市場ショップ・オプ・ザ・イヤール新人賞を受賞するなど、早くも躍進が始まります。成功の秘訣を田辺氏はこう話します。

「一番に、商品の品質に徹底的にこだわったこと、それに加え、顧客対応でいかに満足してもらえるかを大事に考えました」

扱う商品がカニや魚であるため、ものによって大小があったり、身の入りにバラつき

があったりするといいます。生もの相手のそういったウイークポイントを克服するため、同社では検品に細心の注意を払うほか、品質の確認のため定期的にスタッフで試食をするなどの工夫をしています。

また、商品と一緒に、食材を活かすおいしい食べ方を載せたカードを同梱したり、ギフトにも対応できるように、高級感のあるオリジナル化粧箱を取り入れたりするなど、顧客満足度の追及にも余念がありません。

**新たなジャンルに挑戦
敦賀赤レンガ倉庫新店へ**

ネットショップに加え、世界へ向けての第一歩として田辺氏が見据えるのが、2013年10月に敦賀港の赤レンガ倉庫内でオープンすることが決まった新店舗です。敦賀市の赤レンガ倉庫改修の計画を知った田辺氏は、思い描いていた舞台として「ここしかない！」と感じたといいます。

これまでの急速冷凍のズワイガニなど、高品質低価格をウリとしたネットショップや

さかな街の店舗とは一味違い、生きたままのカニや地魚を目の前で調理するエンターテインメント性が今回の新店のミソ。店舗の中央には巨大な生け簀が設置され、他にない空間が演出される計画です。

「新店のテーマは、活です。特注の生け簀に泳ぐ魚が、その場で調理されるという、ラップ感を感じてもらいたいですね」

夕方閉館するさかな街ではできなかった、デイナータイムの営業は田辺氏自身にとっても初めての挑戦。これまでは別の新しい屋号「生け簀の甲羅」を掲げ、新たな挑戦と捉え意気込んでいます。

「この赤レンガの店が上手くいけば、東京、大阪、名古屋など都市圏への出店に繋がりたいと思っています。その先にある海外展開を目標にして、本腰を入れ全力で準備に当たっているとこです。」

成長著しい東南アジア地域への出店をここの5年の目標に掲げているという田辺氏。それに向けて「この1、2年が勝負の時」と力強く語ってくださいました。

チャレンジ発注推進事業募集のご案内

福井県では、新しい事業分野を開拓しようとするベンチャー企業や経営革新を目指す中小企業者等が開発した新商品や新役務を認定し、その中から県の各機関が必要とするものを随意契約により購入し、信用力を高めることで、企業の販路開拓を支援しています。

現在、認定を希望する事業者を募集していますので、ぜひチャレンジしてください。

●対象となる方

県内に主たる事務所を有する中小企業者、県内で新たに法人を設立しようとする者、企業組合・協業組合・事業協同組合・商工組合・NPO等の個人または法人で、新商品の生産や新役務の提供により新たな事業分野の開拓を実施しようとする方

●対象となる新商品や新役務

以下の新規性と有用性の要件の両方に該当するものです。

新規性（以下のいずれかに該当するものです。）

- これまでに企業化されている商品や役務とは別のものであること。
- これまでに企業化されている商品や役務と同一のものであっても、著しく異なる使用価値があり、実質的に別の商品や役務に属するもの。

※企業化＝研究開発段階を終えて、製造や販売を開始すること。

有用性

- 事業活動に係る技術の高度化、経営の効率化または住民生活の利便性の向上に寄与するもの。

●申請受付

受付期間：平成27年7月3日(金)まで（郵送の場合、当日消印有効）

●申請方法

所定の申請書に必要書類を添付の上、福井県産業政策課に提出（後日ヒアリング審査あり）

【提出書類】 認定申請書、実施計画、定款の写し（法人に限る）、決算書、その他商品や役務に関する資料

●審査

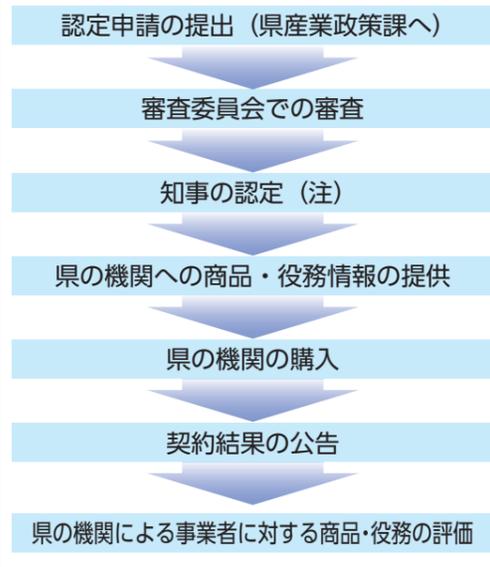
プレゼンテーション審査会を7月下旬に開催する予定です。（日程等は申請事業者の方に別途お知らせします。）

「新商品や新役務の新規性、有用性、市場性、経済性、事業者の実施の確実性、県の機関が購入することによる波及効果、県の機関での活用（過去に県の機関で購入実績がなく、現実的に活用することが可能であるもの。）」の観点から審査します。

●その他

- 当制度の認定事業者は、商工中金の「福井チャレンジ発注推進事業活性化ローン」の利用が可能になります。
- 県としては、県庁内外に向けて様々な手段（ホームページ掲載、紹介冊子の発行、全国ネットワークの活用等）により、認定事業者の商品等のPRに努めていきます。

●手続き等のフロー



（注）認定自体が新商品や新役務の購入を担保するものではありません。



No.02

今月の社是

「王道を歩こうよ」

取材先で編集者の目に留まった「社是」「社訓」「社訓」「経営理念」をご紹介する新コーナー。そこからは企業の考えはもちろん、その会社の「色」や「空気感」まで伝わってくることもあります。

「大津屋」として創業したのは1573年。県内有数の老舗企業です。1981年に県内初のコンビニエンスストア「オレンジボックス」をオープンさせ、今なお県民に愛され続けています。

そんな(株)大津屋の本社に掛けられているのがこの書。現社長の小川明彦氏の叔母に当たる、初代社長鶴恵氏によつて書かれたもので、由来大切にされています。「人に迷惑をかけない」「お客様に一番喜んでもらえることを考える」。400年以上にわたつて言い伝えられてきた思いが込められています。「多少経営として効率が悪くとも、自分がお客さんだったらこつちを選ぶ」と思うことをやってきましたと小川氏。短期的な利益よりも長期的に喜んでもらえる道を。今後とも社の道筋にブレはなさそうです。

福井県産業労働部産業政策課創業・ITビジネス支援グループ

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号

TEL.0776-20-0537/FAX.0776-20-0645

E-mail sansei@pref.fukui.lg.jp/URL <http://www.pref.fukui.jp/doc/sansei/>

※ホームページから実施要綱、申請書等のダウンロードができます。

お問い合わせ先・申請先

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

企業情報メール便

販路開拓のチャンス!
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約2,200社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか?



●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	8,400円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	12,600円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで)	16,800円

*チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

●次回実施号
VOL.14 8月25日発行予定
チラシ提出締切日: 8月18日(火)
チラシ2,200部をご提出
(持参または配送) ください。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。

1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT編集室
TEL: 0776-67-7414 e-mail: kouhou-g@fisc.jp

ふくいソフトウェアコンペティション2015の実施と協賛企業賞の募集について

(公財)ふくい産業支援センターでは、ソフトウェア技術を担う人材の発掘、育成、確保を行なうために、プログラム等の作品を、学生を対象として公募し、その優秀性と先進性を競う「ソフトウェアコンペティション2015」を実施いたします。

《募集部門》

- 一般部門
- オープンデータ部門
- ウェアラブルデバイス部門

募集開始…平成27年6月1日(月)
募集締切…平成27年10月30日(金)
審査会…平成27年11月下旬 実施予定

《賞について》

- 福井県ソフトウェア大賞…各部門1点ずつ [表彰状、表彰盾、奨励金10万円]
- 福井県IT産業団体連合会 会長賞…1点 [表彰状、表彰盾、奨励金3万円]

只今、協賛企業賞を募集しております。

詳しくは、下記の連絡先までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

(公財)ふくい産業支援センター
販路開拓支援部 創業・Eビジネス支援グループ
ソフトウェアコンペティション係 大西
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
TEL:0776-67-7411 FAX:0776-67-7439

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター http://www.fisc.jp/
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声をお聞かせ下さい!

「〇〇が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

今回の特集「土業と仕事をする」いかがでしたでしょうか?このテーマに決まった際、編集者としては少しの憂鬱を感じていた、というのが本音でした。土業というと「敷居が高い」とか「話づらい」、私の中で何となくそんなイメージがあったからです。読者の皆さんもそうではないでしょうか?

結果的にそんな杞憂は取材が始まると消えていきました。10名近くの土業の方とお会いさせていただきましたが、どの方も特集の趣旨に賛同し、温かいご協力をしていただきました。また、インタビュー中、経営者の隣で企業を語るその姿からは、根底に「企業や経営者のためになりたい」という強い思いや責任感があることが伝わってきました。共通して感じたのは、どの先生も企業に対して決して上からではなく、対等なパートナーとして寄りそっていることです。土業と企業の間も、結局は人と人。悩みも喜びも、何でも話し合える関係性があってこそ、良い結果につながるのでは、と感じた編集者でした。

土業と出会える窓口の情報も掲載しています。ぜひ今後のお仕事にご利用ください。

新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間: 2015年4月1日~2015年5月31日

■収集対象: 福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

【食料品・飲料】	
若狭町産の紅映梅の果汁を使ったドレッシング「BENIDRE(ベニドレ)」が完成。健康を考えたノンオイルにし、梅の酸味を抑えてサラダや焼き肉など幅広い料理に合うようにした。さっぱりしたドレッシングで野菜不足の解消につながればと考案	エコファームみかた(若狭町)
ブランドポーク「黒龍吟豚」を開発。飼育中の一時期に黒龍酒造(永平寺町)の純米吟醸酒の酒かすを混ぜた飼料を使用。豚を「ほろ酔い」にすることで、肉を硬くする原因となるストレスを和らげているのが特徴。	生商(福井市)
オタフクソース(広島県)とタッグを組み、ボルガライス用ソースを共同開発、全国発売した。当面、業務用として販路を拡大し、全国のレストラン、居酒屋、スーパー、コンビニの弁当用などに提供する。	日本ボルガライス協会(越前市)
本県産大豆を使用したウサヤ食品(越前市)の油揚げで作った4種類のいなりずしをメインに、福井県を代表する食材を集めた駅弁「福いなり」を発売。北陸新幹線の車内販売のほか、同社の直営店や関東地方のスーパー等で取り扱う。	番匠本店(福井市)
ブリやマダイの飼料に添加するだけで魚の食欲が増す、魚の飼料用の魚糞を開発。サバの内臓を1日で発酵させる独自の製造方法で、専用の発酵槽を導入し商品化に向けた量産体制を整えた。大幅なコスト削減が見込める商品	福井県立大学(永平寺町) サカイオーボックス(福井市) 室次(福井市)
海外市場に詳しい日本酒ジャーナリストをコンサルタントに迎えて、海外向け日本酒「mana1751」を開発。プレミアム、スイート、クラシックの3種で、いずれも外国人が好むやや濃いめの味わいに仕上げた。	真名鶴酒造(大野市)
【繊維/衣服】	
独自の繊維素材「モアレ」を使い、立体的なしま模様、文字が浮かび上がって見えるサインパネルを開発。伝統技法のカラミ織りを活用。文字レイアウトのデザインはメールなどで受け付け、文字シートの入れ替えも可能。	織工房風美舎(福井市)
等身大モニターで衣服をバーチャルに試着しながら型や柄、配色、サイズを選んで注文できるオーダーシステムを備えた店舗を、本社ビル1階にオープン。自分だけの一着をデザインし、モニターで“試着”のイメージを確認してワンクリックで注文が可能に。	セーレン(福井市)
「鎌倉シャツ」ブランドの店舗を展開するメーカーズシャツ鎌倉(神奈川県)と共同で春向けコートを開発。店舗やインターネット通販で取り扱う。秋冬物以降もダウンなどをコラボ商品として発売予定。	第一織物(坂井市)
透けにくい涼感素材を使った企業向けユニホームの受注を開始。20枚程度の小ロットから受け付ける。メッシュ状の生地で通気性が高く、洗濯後に一晩程度で乾くニット素材で、メッシュの細かい穴部分にブラインドのように糸が通り、下着などを透けにくくしたのが特徴。	富士経編(鯖江市)
【金属/機械】	
人と物を見分けて警報を出す産業車両用システムの発売を開始。フランスの原子力・代替エネルギー庁とIT企業が開発した商品を国内で独占販売する。1セット50~150万円を想定し、初年度50セットの販売を目指す。	福井小松フォークリフト(福井市)
【眼鏡】	
20~30歳代の働く女性をターゲットに、掛け心地の良さを追求した眼鏡枠のオリジナルブランド「LADYman.(レディーマン)」を立ち上げ。鼻パッドをチョウが羽を広げて止まっているような形状とし、ずれにくく、長時間かけても負担が少ないのが特徴。	青山眼鏡(鯖江市)
【その他の製造業】	
スマートフォンと無線接続してハンズフリー通話する「ブルートゥース・ヘッドセット(耳に装着するマイク)」を、眼鏡枠に装着できる新製品「ブルーオーシャン」を開発。眼鏡側面に付けた切り込みでヘッドセットを取り付ける仕組みで、実用新案を申請。	シアターハウス(福井市)
タニコー(東京都)と保育施設向け厨房テーブルを共同開発。「やさしい厨房シリーズ」と名付け、保育施設の調理師の多数を占める女性が作業しやすいデザインを採り入れた。今後、給食設備の設置が増えると思われる「認定こども園」からの受注狙う。	ジャクエツ(敦賀市)
素材やデザイン、サイズを選べるセミオーダー壁掛け時計「MYCLO(マイクロ)」を発売。福井県にちなんだ恐竜、筆を使ったイラストや文字、動物の写真などのデザインを用意。組み合わせは1万種類以上で、結婚式の引き出物などの需要を見込む。	山壁産業(鯖江市)
若い女性向けのオイルと化粧水を開発。かつて若狭地方の家庭で盛んに作られていたつばき油を再び生産し、地域活性化などにつなげるのが狙いで、20、30代をターゲットとし、タナカ(高浜町)で販売。	わかさ精油研究会(高浜町)
【商業/サービス】	
無線技術を使いバスツアー客などを点呼するシステムを開発。20メートルの距離まで電波を発信する機器をツアー客のバッグに組み込み、出発や集合の時間に全員が集まったかどうかをスマホの専用アプリで確認できる。	サーフボード(福井市)
災害時などに家族や企業従業員の安否確認ができるスマートフォン向けアプリを開発。災害発生時に自分が無事か、周辺は安全か、ボタンで選べば位置情報とともに家族や企業の防災担当者などに知らせることができるほか、迷子や認知症高齢者の徘徊対策にも。	高木商事(越前市)
日本人向け英語留学事業に参入し、フィリピンに現地法人を設立して英語学校を開発。経験豊富なフィリピン講師を確保、宿舎や診療所を備えたラグラ州の地域と提携し、日本食も用意する合宿型の英語学校とした。	まんてん(福井市)
スマートフォンを活用した来店ポイント付与サービス「楽天チェック」を導入。福井、石川両県にある同社のホームセンターヤマキシのうち、対象7店舗で利用可能。県内の小売業では初導入。	山岸(あわら市)
【建設】	
木製の柱や梁だけで鉄骨並みの建築が可能な木造ラーメン構造の「ウッドスパン工法」による商業施設の建築に着手。集成材を複数接着して強度を高め、筋交いや強度用の壁がなくても大空間を確保できるのが特長で、県内では珍しい工法という。	松栄建設(坂井市)
【飲食】	
本県の土産品やグルメを集めた通販サイトを立ち上げ。羽二重餅などの定番土産のほか、県内飲食店や菓子店などの商品約80種類を販売。スマートフォンからも注文ができる。他社とコラボした母の日セットなども。	ぼんた(福井市)

夢をたくさん咲かせよう

2015夏! 夢キャンペーン

金利上乘せ定期預金

お取扱期間 ▶ 平成27年6月1日(月)～8月31日(月)

1年	2年	3年
年 0.10%	年 0.11%	年 0.12%
(税引き後 0.07968%)	(税引き後 0.08765%)	(税引き後 0.09562%)

【お預け入れ金額】
10万円以上1,000万円以内 ※1円単位

【募集総額】
300億円 ※募集総額に達した場合は、お取扱期間中でも、販売を終了させていただきます。

■商品の概要

●お取扱期間／平成27年6月1日(月)～8月31日(月)※ただし、募集総額に達した場合や市場動向によっては、お取扱期間中でも販売を終了させていただきます。●ご預金の種類／自動継続スーパー定期1年もの、2年もの、3年もの●お取扱対象／新規にお預け入れの個人のお客さま(個人事業主さまを含みます)●お預け入れ金額／10万円以上1,000万円以内(1円単位)●金利／お預け入れ期間1年もの金利年0.10%(税引き後0.07968%)2年もの金利年0.11%(税引き後0.08765%)3年もの金利年0.12%(税引き後0.09562%)として満期日まで適用します。●募集総額／300億円

■ご注意いただきたい点

●継続後の利率／この預金は自動継続のため、継続後の利率は継続日の店頭表示金利とさせていただきます。●期限前解約／この預金は期限前解約ができません。やむを得ず満期前日までにご解約された場合、上乗せ金利は適用されず、お預け入れ日からご解約日までは、当行所定の中途解約利率が適用されます。●中途解約利率／6ヵ月未満の場合は解約日における普通預金の利率、6ヵ月以上3年未満は預入日から解約日までスーパー定期預金に預け入れられた場合に適用する預入日における当行の店頭表示金利に70%を乗じた利率●利息の計算方法／付利単位を1円とした1年を365日とする日割計算●利払頻度／預入期間1年ものは、満期日以後に一括してお支払いいたします。預入期間2年ものは、中間利払日(預入日から1年後の応答日)および満期日以後にあらかじめ指定された方法によりお支払いいたします。※中間利払日にお支払いする利息は、預入日から中間利払日の前日までの日数および中間利払利率(約定利率×70%。小数点第4位以下切捨て)により計算いたします。預入期間3年ものは、6ヶ月複利で計算し、満期日以後に一括してお支払いいたします。●税金／お利息には、20.315%(国税15.315%、地方税5%)の税金がかかります。※平成49年12月31日までの間にお受け取りになるお利息には「復興特別所得税」が課税されます。※ただし、マル優ご利用の場合を除きます。平成27年6月1日現在



ゆめBANK
福邦銀行